医療安全対策
リスクマネジメント

P-252

調剤薬局における安全使用のための取り組み

○田中 祥子[1, 3], 山田 樺奈子[2], 赤嶺 有希子[1], 赤嶺 美奈[1, 3], 松尾 律子[3], 髙木 正信[1, 3], 加納 美知子[1, 3], 姜 惠元[3], 吉原 澄吉[4], 谷田 弘[4], 澤井 一[3]

和同会薬局[1], 帝京大学[2], 和同会薬局 湯島店[3], 一般財団法人 和同会[4]

目的

当薬局は大学病院の門前薬局として幅広い診療科からの処方を応需している。その中で医薬品の発注・納品、処方箋入力、調剤、監査における医療安全を確保する重要性が高まっており、地域に貢献する薬局として安全を重視した調剤や服薬指導を行っている。また、在宅など業務が多様化するにつれ新たな対策が求められている。慣れや多忙により軽視して手順を無視してしまうことがある。安全管理の欠落は患者に直接的な健康被害をもたらすだけでなく患者との信頼関係にも影響するため毎回手順どおり行うことが重要である。当薬局で新たに実施している方法について報告する。

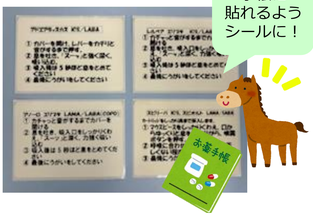
<和同会通信>

誰でも手に取れるよう薬局内に設置！

➢ 抗がん剤による副作用（口腔）について①～②　➢ インスリンについて①～⑤

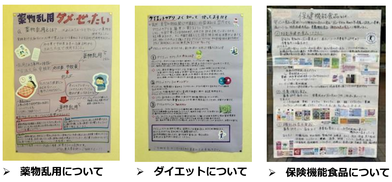
<吸入指導のシール>

手帳に貼れるようシールに！



<ポスター>

薬局内、外にポスターを掲示！



➢ 薬物乱用について　➢ ダイエットについて　➢ 保険機能食品について

<棚の工夫>

規格が小さい順に配置！

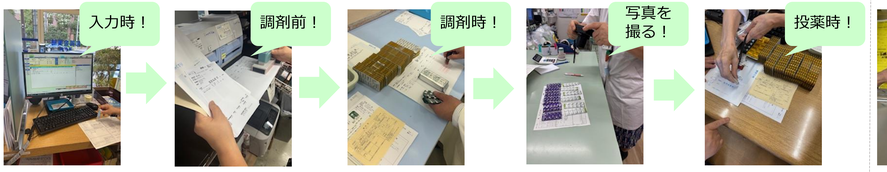
<採用の工夫>

たくさんの会社を採用してしまっていることが現在の課題…
調剤ミスを防ぐため
採用基準点を明確にすること！

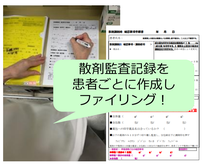
方法

「処方箋入力時」処方箋入力後欄外に押印する。「調剤時」調剤者は薬剤名・薬剤規格・薬剤数の確認スタンプをピッキングリストに押印し、調剤終了時に確認、調剤した薬剤を写真に撮る。「投薬時」薬剤師は薬剤を交付した処方箋・薬袋・お薬手帳に押印する。薬袋は朝、昼、夕、寝る前で色分けする。一包化の分包紙には患者名・服用日付を印字し服用時点毎に色付けする。脱包した薬剤のシートの一部を処方箋の裏に張り付ける。散剤調剤は秤量計算の確認記録を残す。薬剤充填の記録を残す。水剤調剤、軟膏混合は調剤した薬瓶の写真を撮る。複雑な服用の患者に服用状況の確認の連絡をし、薬歴簿に残す。

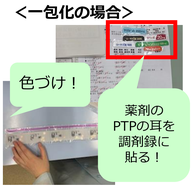
<錠剤などの場合>



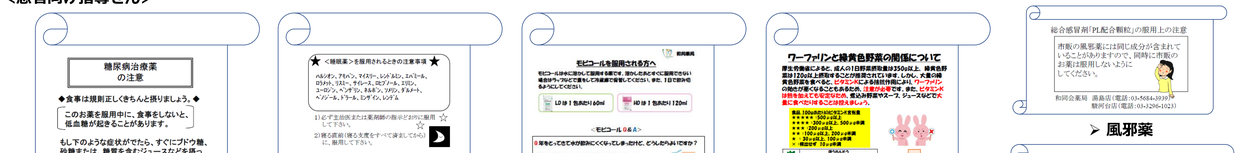
<散剤の場合>



<一包化の場合>



<患者向け指導せん>



➢ 糖尿病薬　➢ 睡眠薬　➢ 便秘薬　➢ ワーファリン　➢ インスリン　➢ 風邪薬

<患者向けチェックリスト>

➢ オピオイドについて　➢ ICI関連　➢ 高血圧について　➢ 糖尿病について　➢ 前立腺について

結果

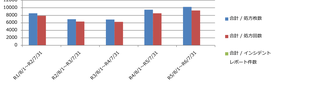
患者に薬剤を交付するまでの各時点で誤りに気づくことができた。薬剤交付後も患者から問い合わせがあった際に写真等の記録から薬局側に誤りがあったかを確認できた。また薬局内でヒヤリハットの情報を共有することにより同様の事例が再び起こるのを防ぐことができた。

"カタルシス効果"を参考にインシデントレポートを作成する際は「手で書く」、「口で伝える」を大事にしています！
➢ カタルシス効果とは…不安や不満、イライラや悲しみなどネガティブな感情を口に出すことにより苦痛が緩和され、安心感を得られる現象

<インシデントレポートの件数 駿河台>

日付	処方枚数	処方回数	インシデントレポート件数
R1/8/1～R2/7/31	8,541	7,873	7
R2/8/1～R3/7/31	6,983	6,341	13
R3/8/1～R4/7/31	6,896	6,273	8
R4/8/1～R5/7/31	9,486	8,551	1
R5/8/1～R6/7/31	10,260	9,273	4

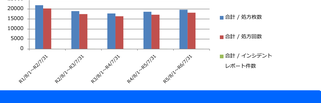
処方箋枚数の増加とともにインシデントレポートの件数も増えているため**「確認印」**を再度徹底する必要性を感じた



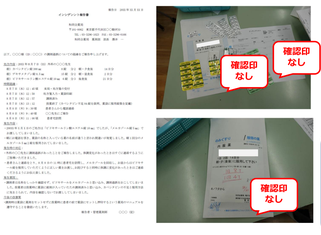
<インシデントレポートの件数 湯島台>

日付	処方枚数	処方回数	インシデントレポート件数
R1/8/1～R2/7/31	21,956	20,276	13
R2/8/1～R3/7/31	18,951	17,457	9
R3/8/1～R4/7/31	17,795	16,412	7
R4/8/1～R5/7/31	18,632	17,169	9
R5/8/1～R6/7/31	19,697	18,165	4

去年より処方枚数も増えさらにインシデントレポートを**5件減らせることができた！**



<実際のインシデントレポート>



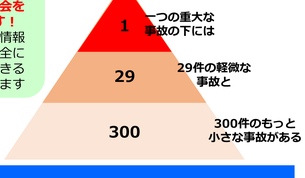
調剤時記録した写真より各時点で**「確認印」**がなかった！！！ことが判明したちょっとした不注意が重大なミスにつながった

<ヒヤリハットの原稿>

当薬局は、**月に1度薬局内症例検討会を実施しています！**
ヒヤリハットの情報共有により、安心に安心して服薬できるよう努力しています

ハインリッヒの法則

➢ 重大事故の裏に潜むヒヤリハットを把握する重要性を説いた法則
➢ 重大事故が起きる前の段階で"危険要素"に気づくことが大事！！



考察

調剤薬局には在庫管理から処方箋入力、投薬までの各段階で安全管理を行う体制が求められる。薬局での薬学的管理は患者が薬物治療を効果的かつ安全に行うため、最大限効果を発揮し最大限安全に薬物治療を行っていくために重要であると考える。

9名の薬剤師が在籍しています。
また、**外来がん治療専門薬剤師**が在籍しています！

8名の事務員が在籍しています。
また、**登録販売者**が在籍しています！

9名の薬剤師と**8名の事務員**が在籍しています！

第 57 回 日本薬剤師会学術大会 2024　利益相反の開示　筆頭演者名：田中 祥子
私は今回の演題に関連して、開示すべき利益相反はありません。